

平成28年度第1回椎の木評議会の記録

5月11日（水）生徒総会を参観していただいた後、本校第二会議室で平成28年度第1回椎の木評議会を実施いたしました。本校職員6名を含め、地域の方々、保護者代表、小学校・高等学校の先生方、行政関係者にご参加いただき、開かれた学校づくりをテーマに実施しました。ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

小学校・高等学校

- ・自転車でのスクランブル交差点の通行の仕方がすばらしい。笑顔であいさつする。生徒総会は1年生の成長を感じた。小中連携は子供たちの不安を和らげる。挨拶運動後も交流を深めていた。非常にありがたい。
- ・小中連携から、中高連携を考えていきたい。
- ・3年目の参加。来校のたびに成長している。高校との連携について声を掛け合いたい。
- ・小中高の発達の段階を感じた。話し合いは拙く見えてもそれが高校、大人へとつながっていく。教員が発達の段階を理解して取り組んでいきたい。
- ・流山の生徒にたくさん受検してもらいたい。生徒総会すばらしかった。
- ・防災教育について、今後取り組んでいきたいと考えている。中学で生徒に寄り添い土台を作ってくれている。高校では大人につなげていきたい。

行政関係者

- ・生徒総会で3年生が上級生の誇りを持っていて下級生に引き継ぎたいという気持ちがある。議長を中心とし、しっかりやり取りが成り立っている。表現力の向上は学力の向上につながる。（原稿を見ていない）
- ・不審者は減少傾向にあり、東部中学区はとても少ない。落ち着いた地域であり、昨年度市内92件中東部地区は4件だった。不審者情報があれば情報提供いただきたい。青パトなど抑止力となる活動を続けたい。新入生の自転車通学の指導と住所等の聞き出しへの注意喚起をお願いしたい。中学生が小学生の情報を伝えてしまったこともあった。

地域の方

- ・学力テストの結果について、地域の方が非常に喜んでいる。小1、2では高いが、高学年では低下、しかし東部中では高いのはなぜか。
→規律・生活習慣を大切に指導していることが効を奏している。小学校で基礎をしっかりと教えてきてもらっている。基礎がしっかりしていれば大丈夫。話をしっかりと聞けるといのがすべてのベースであり、中学校で花を咲かせやすい。
- ・いじめ防止のため、家庭・学校・地域の力が必要。（学校）
- ・落ち着いた素晴らしい学校である。部活も勉強も一生懸命な生徒を育ててほしい。先生方にも頑張ってもらいたい。
- ・集中して聞く姿がすばらしい。防災訓練も一生懸命であった。
- ・民生委員と力をあわせて子供を見守っていきたい。
- ・SNS、LINEについて指導してほしい。

保護者の方

- ・3年生が1年生を温かい目で見ている。そうじ、挨拶の達成をどう計るかを考えていくことが必要。授業に集中することの大切さを子どもたちに伝えていく。
- ・落ち着いた。よく手を挙げる。面白い意見もある。1年生ならではの素直な意見も発表できている。3年生は先輩として言わなければならないことをしっかりと伝えていた。

※3学期に第2回を実施する予定です。